



動き出した

「地域支え合いセンター」

町社会福祉協議会が中心となり、被災者（応急仮設住宅、みなし応急仮設住宅、在宅など）を対象に総合相談、健康づくりなどのサロン活動、コミュニティ形成支援などの自立支援活動を行います。

**協力団体**：キャンパス熊本／熊本YMCA／ライフサポートチーム／こころをつなぐよか隊ネット／益城病院・アントニオ／NPO法人子育て応援おおきな木／株ミタカ／本県総合保健センター

温かく心強い支援

「ましきラボ」

熊本大学の多くの研究者による、「これまでの研究成果を地域復興に活かせないか」というさまざまな提案をもとに、同大学が、「学生や研究者と益城町住民が復興について自由に語り合える場」として開設しました。町が進める復興計画について解説を行ったり、町民の不安、要望などに耳を傾けたりするなど、行政と住民間の橋渡しとなります。



全国から たくさんの「義援金」および「ふるさと納税」をいただき、心より感謝申し上げます。

平成 28年 9月 30日現在

義 援 金	10,239 件	8 億 4,863 万円
ふるさと納税	544 件 代理受付 9自治体	1 億 468 万円

町の復旧、復興のために活用させていただきます。なお、「ふるさと納税」については、現在中止させていただいております特産品の返礼を、早く再開できるよう準備を進めております。

本町は、熊本地震発生直後から全国の皆さまより、温かいお気持ちとともにさまざまなご支援をいただいております。

その中の、「義援金」、「ふるさと納税」についてご報告いたします。